



新年のごあいさつ

名古屋商工協同組合協会会長 伊 藤 豪

新年あけましておめでとうございます。

会員組合の皆様には、お健やかに新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

旧年中の暖かいご支援に感謝いたしますとともに本年も変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、去年は、年が明けてから間もない3月11日、東日本大震災に見舞われ、それによる大津波により壊滅的な被害が生じました。15,000人以上の方が亡くなられ、未だに4,000人近くの方が行方不明です。

さらに、福島原子力発電所のメルトダウンという大事故をも引き起こしました。これにより各地で原発反対の運動がおき、電力供給の不足が予想され、日本中が節電に努めました。震災後10ヶ月になろうとしています。未だに避難先での暮らしを強いられ、そこで新年を迎えられた方がたくさんみえます。

さらにこの日本を見舞ったのが、空前の円高です。ギリシャに端を発した欧州の通貨不安とアメリカ経済の改善の遅れが円を押し上げ、輸出産業を圧迫しています。製造業が盛んなこの地方にとっては大変な痛手です。これに加えてタイでの大洪水です。タイに進出している企業もたくさんありますが、これらの工場が水に浸かり操業が不可能になりました。

このため多くの企業の生産がストップしました。

昨年1年は、我国にとって多難な年となりました。

しかし、日銀の経済見通しでは、当面、海外経済の減速や円高の影響を受けるものの、その後は海外経済の成長率が高まることや、震災復興関連の需要が徐々に顕在化していくことなどから、緩やかな回復経路に復していくと言っています。また、輸出や生産は、新興国・資源国を中心とした堅調な海外需要を背景に増加を続けるとみられるともいっています。

内閣府の月例経済報告でも、景気は厳しい状況にある中で引き続き持ち直しているし、企業の業況判断は、先行きに慎重な見方となっているが、改善していると報告しています。

これらの予測のように、震災の復興が一日も早く進み、景気も回復し、中小企業の経営を潤してくれるようになることが望まれます。

商工協同組合協会といたしましても、皆様の異業種交流を一層深め、会員組合の振興発展に努めてまいりたいと思います。今後とも組合協会の運営にご指導、ご支援賜りますようお願い申し上げます。最後になりましたが、会員組合と各企業のますますの発展と皆様のご健勝をお祈りし新年のご挨拶とさせていただきます。